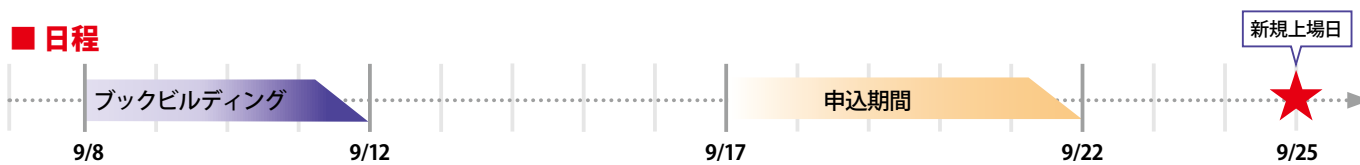


## IPO銘柄 リボミック (4591・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
4591	100 株	公募: 120.00 万株 売出: 96.40 万株 (OA32.46 万株)	2,000 円~ 2,300 円 (-)	大和証券

### ■ 日程



## 独自の「RiboARTシステム」で創薬事業を手掛けるバイオベンチャー

### ■ 事業内容

創薬プラットフォーム「RiboARTシステム」をベースとした創薬事業を展開するバイオベンチャー。筆頭株主は大塚ホールディングス傘下の大塚製薬。早期ライセンスアウトと製薬会社との共同研究をバランスよく組み合わせた事業展開を目指している。共同開発するパートナーは株主でもある大塚製薬のほか、全薬工業、大正製薬。現在開発中のパイプラインでは、藤本製薬にライセンスアウト済みの疼痛治療薬「RBM004」、自社開発の肺線維症治療薬「RBM006」などが前臨床試験中。共同開発案件では大塚製薬と取り組む免疫・炎症性疾患治療薬「RBM001」が適応疾患を再検討中で、「RBM002」は血液疾患を対象として前臨床試験を行っている。創薬事業とこれに付随する事業を行う単一業態。

### ■ 特徴

「RiboARTシステム」は、新薬素材のひとつである核酸のRNAを素材とし、病気の要因となるタンパク質に結合して動きを阻害する「アプタマー」という分子に着目し、その創製から医薬候補アプタマーの仕上げまでをカバーするシステム。基礎・探索研究、前臨床試験の期間のうち、標的タンパク質の決定から試験を開始するまでの予備毒性試験ステージまでの実施期間を短縮できるなどの特徴がある。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

15年3月期の非連結経常損益は5,000万円の黒字を予想する。前期は2億1,000万円の赤字だった。「RBM004」のライセンス収入などにより黒字浮上を果たす見込み。今後も前臨床試験に進んでいるパイプラインのライセンスアウトを実現させていく方針にある。

### ■ 定性分析

バイオベンチャーは一般的に赤字体質で資金需要の大きな業態であり、需給面に問題を抱える案件が多く人気化しづらい傾向がある。ただ、リボミックは15年3月期に黒字浮上見込みであるほか、大塚グループ系ということから、一定の安心感はあるようだ。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は57億円程度。この他、ロックアップ条項の付されていないベンチャーキャピタル保有株が多く、市場に流通する可能性があるベンチャーキャピタル保有株は公募株数を上回る状況。需給面には不安が残る。(小泉健太)

### ■ 類似企業

リボミック(4591・マザーズ)	予想PER ー (仮条件上限)
UMN ファーマ (4585・マザーズ)	予想PER ー
オンコリスバイオファーマ (4588・マザーズ)	予想PER ー

### ■ 引受証券

大和証券、みずほ証券、SMBC 日興証券、いちよし証券、エース証券、SBI 証券、マネックス証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	168	▲26.4	-275	赤縮	-276	赤縮	-26.4	—
14年3月期(実績)	151	▲10.1	-210	赤縮	-211	赤縮	-20.2	—
15年3月期(会社予想)	508	3.4倍	50	黒転	45	黒転	4.0	—

※14年6月に株式分割(1株→100株)を実施。13年3月期、14年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	104,578	602	564	1,421	54.0	93.7	—
14年3月期	105,778	492	353	1,422	33.5	71.9	—

※13年3月期および14年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	大塚製薬	4,000,000	30.53
2	中村 義一	1,140,000	8.70
3	全業工業	1,025,800	7.83
4	宮川 伸	435,000	3.32
5	京大ベンチャー・NVCC1号投資事業有 限責任組合	380,500	2.90
6	イノベーション・エンジン三号投資 事業有限責任組合	380,500	2.90
7	中村 恵美子	377,000	2.88
8	ジャフコ・バイオテクノロジー1号投資 事業有限責任組合	363,000	2.77
9	大和企業投資	332,000	2.53
10	日興コーディアル証券投資事業組合	313,000	2.39

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	中村 義一
取締役 執行役員 探索研究部長	宮川 伸
取締役 執行役員 管理部長	宮崎 正是
監査役(常勤)	藤井 素彦
監査役	高木 正明
監査役	矢部 豊

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者

登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会